※令和３年度以前入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　　大修館						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・積極的に行動し、自己の能力に応じて、基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察・分析することで、興味・関心を高め、運動を通しての楽しさや喜び、達成感を分かちあおう。
・仲間と連携・協力して楽しむ力を身に付けよう。

２　学習の到達目標

心身の健全な育成をはかり、スポーツの楽しさ、身体活動の爽快さを学習するとともに、ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得する。また、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c: 運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。 ・協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。 ・公正・協力・責任などの態度を身につける。	・技能向上のための創意工夫ができている。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かすための適正な判断ができる。	・仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。 ・記録や技能向上に挑戦する。	・特性やねらいを把握。実践・応用できる科学的知識を身につける。
評価方法	・授業観察	・授業観察 ・レポート ・体育理論	・スキルテスト ・技能観察 ・ゲーム評価	・レポート ・体育理論

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期・後期（(各1種目ずつ2種目選択)	バスケットボール	・チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上 ・戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。 ・互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な集団技能や個人技能を身につけ、具体的な作戦を立てて、積極的にゲームに臨む。 b. ゲームのなかで、その時々に自らに求められるプレーを、チームメイトとの関係も考慮して適切に選択する。 C. パス・ドリブル・シュートなど基礎的な技能を身につけ、ゲーム中の、オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して、互いに協力して、有効な動きを身につける。 d. ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解する。ゲームのルールを正しく理解し、審判法を身につける。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価
	バレーボール	・チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上 ・戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な個人技能や集団技能を身につけ、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連携プレーをゲームで発揮する。 b. チーム内で、個人技能を組み合わせた連携プレーを使って、相手チームに応じた適切な作戦を考える。 c. レシーブ・トス・スパイク・ブロックなどの基本を着実に身につけ、多彩な連携プレーを組み立てる。 d. ネット型のゲームの特性やルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための正しい知識をもつ。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価

※令和３年度以前入学生用

前期・後期（（各1種目ずつ2種目選択）	ソフトボール	・集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるとともに、それを集団的な技能に結びつけるための練習を積極的に行うことができる。 b. ゲームのなかで、チームの戦術と自己の役割を正しく理解し、適切なプレーをすることができる。 c. スローイング・キャッチング・バッティングなど個人的技能の基本を着実に身につけ、ダブルプレーなど集団的技能のなかで正しく適用することができる. d. ゲームのルールを確実に理解し、具体的な場面において、それをふまえた行動ができる。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価
	サッカー	・チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上，戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。 ・互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるとともに、それを集団的な技能に結びつけるための練習を積極的に行う。 b. ゲームのなかで、その時々に自らに求められるプレーを、チームメイトとの関係も考慮して適切に選択する。 c. 足を使ったパス・ドリブル・シュート、ヘディング・ゴールキーピングなどの基礎的な技能を身につけ、オフェンス・ディフェンス・ゴールキーパーとの連携など、ゲーム中の具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力して有効な動きを身につける。 d. ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解する。ゲームのルールを正しく理解し、審判法を身につける。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価

※令和３年度以前入学生用

	卓球	・自己の能力に応じた技能の向上によって、攻防の展開ができるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるための効果的な練習方法を考え、積極的に実行することができる。 b. 相手の動きや打球に対して、より有効な攻撃を考え、ゲームに生かすことができる。ダブルスでは、パートナーの特徴を生かした攻撃を考えることができる。 c. ロング・ショート・カットなどの打法や・サービス・レシーブなどの基本を着実に身につけ、多彩なプレーを組み立てられるようにする。 d. ネット型のゲームの特性やルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための、正しい知識をもつことができる。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価
	バドミントン	・自己の能力に応じた技能の向上によって、攻防の展開ができるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるための効果的な練習方法を考え、積極的に実行することができる。 b. 相手の動きやフライトの特徴に対して、より有効な攻撃を考え、ゲームに生かすことができる。ダブルスでは、パートナーの特徴を生かした攻撃を考えることができる。 c. ハイクリア・ドロップ・ドライブ・スマッシュなどの打法やサービス・レシーブなどの基本を着実に身につけ、多彩なプレーを組み立てられるようにする d. ネット型のゲームの特性やルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための、正しい知識をもつことができる。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価

※令和３年度以前入学生用

	テニス	・自己の能力に応じた技能の向上によって、攻防の展開ができるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるための効果的な練習方法を考え、積極的に実行することができる。 b. 相手の動きや打球に対して、より有効な攻撃を考え、ゲームに生かすことができる。ダブルスでは、パートナーの特徴を生かした攻撃を考えることができる c. グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス、レシーブなどの個人的技能を身につけ、多彩なプレーを組み立てられるようにする。 d. ネット型のゲームの特性やルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための、正しい知識をもつことができる。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価
前期・後期（各1種目ずつ2種目選択）	ソフトボール	・集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 ・安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。	○	○	○	○	a. 基本的な技能を身につけるとともに、それを集団的な技能に結びつけるための練習を積極的に行うことができる。 b. ゲームのなかで、チームの戦術と自己の役割を正しく理解し、適切なプレーをすることができる。 c. スローイング・キャッチング・バッティングなど個人的技能の基本を着実に身につけ、ダブルプレーなど集団的技能のなかで正しく適用することができる. d. ゲームのルールを確実に理解し、具体的な場面において、それをふまえた行動ができる。	・授業態度の観察 ・スキルテストやゲーム評価

※令和３年度以前入学生用

	水泳（背泳ぎ）	・自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする。 ・互いに協力して練習するとともに、事故を防止して、安全に練習ができるようにする。 ・計画的練習や競泳の仕方が工夫できるようにする。	○	○	○	○	a. 陸上運動とは異なる、水中という環境のなかで、水の特性をつかみ、積極的に泳法を学び取ろうとする。 b. 速く、また長く泳ぐために効果的な練習を、自己の能力に応じて考えながら実行することができる。 c. ビート板などの補助器具を用いるなどして、足の動き、手の動き、息継ぎなどの基礎的な動きを身につける。 ローリングを生かした手の動作と呼吸のタイミング、大きく強い足の動作などの技能を修得し、正しいフォームで速く・長く泳ぐことができる。 d. 背泳ぎの技能について、正しいイメージをもつことができる。 安全面の配慮を、心肺蘇生法などとも関連させながら理解できるようにする。	・授業態度 ・タイム評価
	体育理論	・生涯スポーツの見方・考えたか ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ振興 ・スポーツと環境	○	○		○	a:各単元の学習に自主的に取り組もうとしているか。 b:知識を習得できているか。 d:内容をしっかりと理解できているか。	・授業態度 ・授業プリント ・テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。